

肝胆膵外科

困難な疾患であっても患者さんに寄り添って
親身に治療方法を検討します。



診療科
ホームページ
QRコード

| 外来日(初診) | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---------|---|---|---|---|---|
| 午前 | ○ | ○ | ○ | | |
| 午後 | ○ | ○ | ○ | ○ | |



得意とする疾患と担当医師

- 原発性肝癌、転移性肝癌 / 開腹手術、腹腔鏡手術、TACE、化学療法
- 膵臓癌、膵嚢胞性疾患 (IPMN など) / 開腹手術、腹腔鏡手術、ロボット手術、化学療法、放射線療法、緩和療法
- 膵神経内分泌腫瘍 (P-NET)、神経内分泌腫瘍肝転移 / 開腹手術、腹腔鏡手術、ロボット手術、化学療法、肝動脈化学塞栓療法 (TACE)、緩和療法
- 胆道癌、胆嚢癌、肝門部領域胆管癌 / 手術、化学療法、緩和療法
- 肝胆膵領域の良性疾患 / 評価、手術、経過観察等

担当医師 / 上記共通：下記いずれの医師もベストな対応をいたします。

田邊 稔 (教授)、赤星 径一 (講師)、小野 宏晃 (講師)、上田 浩樹 (助教)、石川 喜也 (助教)、渡邊 秀一 (助教)、浅野 大輔 (助教)



特色・診療内容

肝胆膵領域の手術を国内トップレベルの症例数になっているハイボリュームセンターです。特に腹腔鏡手術分野が強みであり、他施設から多くの見学者が訪れたり、腹腔鏡手術に関する国際学会を主催しております。また、最新の化学療法と手術やTACEを組み合わせた集学的肝癌治療を行っています。

膵臓癌は切除可能症例に対する手術から進行癌に対する集学的治療まで対応しています。膵癌は進行が早い疾患であり、手術までの待機期間が問題になります。当科では膵癌専門外来を設立し、術前に必要となる検査を迅速かつ短期間で行う取り組みをしております。また、以前より術前化学療法に注力しており、術前治療を含め、患者さんに適した治療を行っています。

膵嚢胞性疾患 (IPMN など) は計 600 名以上の患者さんを診察しており、他院で治療方法が判断困難と言われた症例にも対応しています。

消化器内科、がんゲノム診療科、臨床腫瘍科、放射線科、緩和ケアなど他科との連携を高めており、肝胆膵疾患全ての窓口となって対応することができます。



専門外来

●神経内分泌腫瘍専門外来

国内トップレベルの症例数を有しており、他院で治療困難と言われた方でも対応しております。

●膵癌専門外来

膵がん治療 Speed Up Project を掲げて膵がんの疑いのある方の検査・治療を可能な限り迅速に行えるように体制を構築しています。

【外来】初診事前予約受付 (地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~16:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼 (入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。